

地域情報

夏秋トマトの出荷順調

阿蘇地域の夏秋トマトは、昨年の熊本広域大水害で甚大な被害を受けましたが、この被害を乗り越え、本年度の作付は215戸で58.1haと生産者数、面積とも災害前の状況まで回復しました。

本年の出荷は平年並みの6月4日から始まり、8月末のJA阿蘇の出荷実績は2,271t（H23年同期比*106%）と順調な出荷が行われています。

また、農業普及・振興課では、災害からの復旧・復興と併せて、生産者の所得向上に取り組むPQCプロジェクトを立ち上げており、20戸の重点指導農家の底上げや、優良事例のデータ収集を、関係機関と協力しながら進めているところです。

夏秋トマトの出荷は11月上旬まで続きます。最後まで品質の良いトマトの出荷を継続し、被災からの復旧だけでなく、更なる発展の年となるよう、今後も関係機関が連携した取り組みを進めていきます。

※H24については、豪雨災害の影響があるためH23年同期で比較



8月下旬のトマト着果状況